

**2016年度 日本文化人類学会
第3回理事会 議事録(案)**

日時：2016年7月17日(日) 14時～17時30分

会場：東京大学 東洋文化研究所 3階 大会議室

<出席者>松田、綾部、宇田川、岡田、小田、川田、栗本、佐々木、棚橋、名和、真島、三尾、箭内

<委任状提出>伊藤、桑山、慶田、湖中、白川、高倉、田中、中谷、速水、森山

〔承認事項〕

1. 2016年度第2回理事会議事録(案)
2. 2016年度第2回評議員会議事録(案)
3. 2016年度総会議事録(案)
4. 新入会員(10名)、再入会員(2名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
5. 棚橋理事より、人類学関連学会協議会第11回合同シンポジウムについて、総務会で検討の結果、松尾瑞穂会員を本学会代表とすることを報告の上、事後承認。
6. 棚橋理事より、2017年度および2018年度の学会主催公開シンポジウムの組織者について、総務会において検討と依頼を行い、2017年度は門田岳久会員(立教大)、2018年度は小川さやか会員(立命館大)より内諾を得たことを報告の上、事後承認。
7. 名和理事より、前回理事会以降に配信されたJASCA-INFO14件のうち4件について、運用内規に定められている定型の配信ではなかったため総務会で検討をへて配信したことを報告の上、事後承認。また、JASCA-INFOの配信に関し、必要最小限の情報を配信し詳細情報についてはホームページへリンクを行うというこれまでの運営方針について説明があり、今期もこの方針で運営していくことが承認された。

〔報告事項〕

1. 庶務理事報告
 - ・第7回有志賞の学会推薦に関して、学会推薦候補者の受付を5月16日に締め切り応募者の選考をおこなった結果、今回は学会からの推薦を行わないことが決定されたことを報告。
 - ・第6回(平成29年度)三島海雲学術賞の学会推薦者募集がおこなわれ、7月14日をもって締め切ったこと、応募者は0名であったことを報告。
 - ・会員名簿について例年通りの仕様で刊行の準備を進めることを確認。
2. 会計理事報告
 - ・地区研究懇談会、課題研究懇談会への今年度予算の振り込みについて、順次進めていることを報告。
3. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき14件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
4. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：5月29日に編集委員会を開催したこと、7月23日にも編集委員会を開催予定であることを報告。また、表紙デザインの変更に伴い81巻1号の刊行が通常より1ヶ月程度遅れること、および、81巻2号の進捗状況について報告。
 - ・「国際情報発信強化」特別委員会：欠席の桑山理事に代わり松田会長より、今年度の国際シンポジウムのメインスピーカーが決定したことを報告。
 - ・課題研究懇談会担当委員会：欠席の高倉理事に代わり川田理事より、2016年度採択課題について、活動計画の提出依頼及び今年度予算の振り込み手続き等を行ったこと、各懇談会の代表者に対し活動報告を学会誌の資料と通信欄に寄稿することを連絡したことを報告。
 - ・学会歴史委員会：神奈川大学と国立民族学博物館で保管及び会員へ公開(一部一般公開)されている人類学者・民族学者映像記録に含まれる村武精一先生と江上波夫先生の映像記録について、改めて公開の経緯や関連資料を確認する必要があるため、委員会で対応を検討中であること、その間、公開を差し止めることを報告。
 - ・研究大会運営検討委員会：託児所補助金について、毎回不足が深刻なため、その方針について今後検

討が必要であることを報告。また、第 51 回研究大会準備委員会より会費体系の改定に連動する形での大会参加費カテゴリーの変更、PayPal の導入、ポスター発表の廃止について検討中との連絡を受けていることを報告。第 51 回研究大会準備委員の岡田理事より補足説明がなされ、会員の便宜を考え PayPal の利用と Early Bird の導入を検討中であることを報告。

- ・地区研究懇談会：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。

〔審議事項〕

1. 東日本大震災の被災会員に対する会費徴収特例措置について
 - ・川田理事より、本件につき 1 件の申請があり、対象者は東日本大震災発生後、毎年会費徴収特例措置を申請していたが、2015 年度分を未申請であったため 2016 年度分と合わせ 2 年分の特例措置について申請書の提出があったことが説明された。審議の結果、2015 年度と 2016 年度の会費徴収特例措置の適用が承認された。今後も当該年度分の申請については総務会において承認の上、理事会で事後承認をえるが、前年度以前にさかのぼる申請の場合、前例とせず毎回理事会で審議を行うことを確認した。
2. 朝日賞の学会推薦について
 - ・川田理事より、2016 年度朝日賞の候補者推薦依頼を受けたことが報告され、審議の結果、2016 年度朝日賞の候補者推薦を実施することが承認された。候補者については総務会原案が承認された。
3. 各種委員会構成の追加変更
 - ・川田理事より、「国際情報発信強化」特別委員会について、JICA 投稿権拡張検討対応に名和理事、国際シンポジウム運営支援に棚橋理事が新たに加わることが説明され、承認された。
4. 会費改定案承認を受けての今後の工程について
 - ・綾部理事より、会費体系改定案の総会承認を受けての今後の工程について、JASCA-INFO と学会 HP を通じた会員への告知及び『文化人類学』81 巻 3 号への会長名による告知文書の挟み込みあるいは掲載等の提案があり、承認された。また、新会費体系において規定される年収は所得合計（税込み）とすることが承認された。その他、会費体系の改定に伴う要検討事項について審議した結果、総務会原案に基づき次の通り対応することが承認された。
 - ①過年度分は改定前の会費額とする。
 - ②前納されている方へは会長名で差額請求または返金について文書を作成し送付する。
 - ③学会 HP の「入会案内」の会費説明部分の変更については会計理事が文面を作成し、総務会で確認の上必要に応じて理事会メール稟議等を行う。
 - ④入会申込書・再入会申込書の会費区分の表記を変更する。
 - ⑤海外在住通常会員の支払額は年収が 300 万円をこえる会員は 90US ドル、300 万円以下の会員は 50US ドルとする。
 - ⑥国内在住通常会員の配偶者割引は現行と同じく規定の会費額から 3000 円を割引く。ただし、配偶者割引の名称については、当面はこの名称を残しつつ検討を続け、会長名で作成する会費体系の改定に関する告知文書に本件についても記載することとする。
5. WCAA と IUAES との合同問題の投票について
 - ・松田会長より、これまでの経緯と投票について説明があり、審議の結果、本学会としてはこれまでの経緯を鑑み、WCAA と IUAES を一体化し、一体化の方法としては 2 つの組織を一つに合併する Bicameral Organization を支持する方針で票を投ずるという総務会原案が承認された。
6. 国際研究集会発表助成について
 - ・小田理事より、2016 年度次世代育成国際研究集会発表助成の募集要項案が提示され、文言及び日程調整の上、承認された。募集については学会 HP と JASCA-INFO で会員へ周知することが承認された。
7. 次世代育成セミナーについて
 - ・小田理事より、今年度次世代育成セミナーについて、東日本会場は東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所文化/社会人類学研究セミナーとの共催で 11 月 6 日（於東京外国語大学 AA 研）に開催予定、西日本会場は 10 月 23 日（於国立民族学博物館）に開催予定であることが説明され、あわせて 2016 年度次世代育成セミナーの発表者募集要項案が承認された。募集については学会 HP と JASCA-INFO で会員へ周知することが承認された。また、来年度の募集に際しては、『文化人類学』への投稿を努力義務とする、あるいは積極的に勧めるような一文を入れることとした。

8. 『文化人類学』編集委員会提案

- ・真島理事より査読制度の新たな方向性について資料に基づき予備提案がなされた。主に、①「査読 peer review」への原点回帰を踏まえ、また査読過程の透明化と編集委員の負担軽減のため、投稿フォームへ「予期・希望する査読者/意見の衝突等があり得る査読者」欄の新設、②グローバルな趨勢として査読はブラインドではなくなってきており、今後の本学会の方向性及び現状に即していない査読規程の再検討について、提案と説明があり、議論の結果、①については承認された。今後は理事会で出された意見を委員会へ報告しさらに検討を進めること、随時理事会へ報告していくことを確認した。
- ・欠席の高倉理事に代わり真島理事より、先日、学会へ届いた献本のリストが JASCA-INFO で配信された件に関し、書評投稿の活性化に向けて、書評を書きたい人に書いてもらうこと、誰でも投稿可能であるということを周知する意味を含め、今後しばらく同様のスタイルで JASCA-INFO 配信を行いたいとの提案がなされた。これに対し、名和理事より、バックログの確認や会員のアクセスの公平性、JASCA-INFO で配信される他の情報は長文を掲載していないこと等に鑑み、学会 HP の文献情報コーナーで誰にでもわかるよう送付済みの献本マークの色を変更する等の対応が良いのではないかと意見が出された。検討の結果、書評主任から JASCA-INFO へ配信されたものと同じ趣旨の文章を HP へも掲載することとし、名和理事の提案については、委員会で再度検討することとした。

9. JRCAに関するウェブページ記載について

- ・速水理事より、JRCAに関する学会 HP の記載内容について、年 2 冊の刊行になったことを明記し、和文と英文の表記をそろえる方向で訂正を行うことが提案され、承認された。

10. 法人化について

- ・三尾理事より、委員会で検討した定款案について説明がなされた。定款案に関する下記の項目について検討を行った結果、承認された。
 - (1) 社員、社員総会に関する文言の部分は社員に統一する。
 - (2) 海外在住会員の扱いについてはすべて「通常会員」とし、選挙区については検討の上、別途定めることとする。
 - (3) 社員総会における社員数と定足数については、現行より 10 名程度増員の 57 名とする。
 - (4) 第 59 条、第 61 条の会計監査人を必要とする表記部分を削除する。

11. その他

- ・松田会長より、研究大会時の総務会・理事会・評議員会について、大会 1 日目に集中して開催されると理事・評議員が研究大会に参加できないという問題点が説明された。開催スケジュールを固定するのではなく毎年柔軟に検討するという前提の上で、来年度については前日開催の可能性を検討してはどうかという提案がなされ、意見交換が行われた。
- ・松田会長より、第 52 回以降の研究大会開催校について交渉中であることが報告された。
- ・第 4 回理事会は 10 月 22 日（土）14:00 開催予定、於東京大学東洋文化研究所。

以上